



2025 年 4 月
十日町市議会議員選挙

農業、医療、雪対策 くらしの土台を守りぬきます

十日町市議会議員

滝沢 しげる



物価高騰で苦しむ農家や業者のみなさんからお話を聞き、支援制度の前進へつなげてきました。ひきつづき、くらしの土台をまもるために取り組んでまいります。

先の総選挙では、地方切り捨てを続けてきた自民党政権に厳しい審判がくだされました。国民の願い実現のチャンスです。

新しい政治の流れをつくり、安心して住み続けられる十日町市にするために、みなさんとともに全力でがんばる決意です。



プロフィール／1955年松之山生まれ●安塚高校松之山分校卒●高橋組に勤務
●市農業委員2期6年、認定農業者連絡協議会会長を歴任●十日町市議2期



希望のもてる十日町市へ みなさんと力をあわせて頑張ります！

滝沢しげるのお約束

子育て・教育

- こども園・保育園・小中学校の給食費を無料に
- 子ども医療費を完全無料に
- 子どもの国保税均等割ゼロ
- 住民合意のない学校統廃合に反対、地域の学校を守る
- 国に学費無償化、奨学金返済半額免除を求めます



住み続けられる医療・福祉・生活支援

- 医師確保と地域医療の充実、十日町病院の分娩再開
- 在宅医療・介護の充実 ●市営バスの存続
- 要介護世帯の除雪費支援の対象世帯拡大と支援額増額



農業・雇用と地域経済

- 価格保障と所得補償で山間地域の農業経営を守る
- 医療・介護分野で雇用の創出をはかる
- 原発ゼロ、十日町を再生可能エネルギーの先進地に



税金の使い方を
暮らし最優先へ！

滝沢しげるは
財源をしめして
提案します

基金の一部を活用すれば実現できます

- | | | |
|---------|--------|-----------|
| ●財政調整基金 | 25億円 | 普通会計と特別会計 |
| ●地域振興基金 | 14億円 | 合計 |
| ●環境共生基金 | 23億円など | |

90億円

総選挙で自公が
過半数割れ…

願いかなえるチャンス！

農業を守り、暮らしと地域経済
を応援する政治に！
私も一緒に頑張ります。

日本共産党参議院議員／参院国対委員長

井上 さとし

いのうえ 哲士



農業、雪対策は 滝沢しげる

現場
主義

すぐ駆け
つける

❶ 2023 年の干ばつでは、ポンプやホース、水タンクへの助成、消雪パイプの使用、生コン車の運用などを実現。収量の減、品質低下に対して仮渡金との差額の3分の1助成に道をひらきました。

❷ 翌24年の春には、田んぼの水がぬけてしまう事態に。能登半島地震の災害復旧事業として、農家1割負担で復旧しました。

❸ 猪対策が急務です。電気柵の設置予算が減り続け今年度はわずか60万円に。滝沢しげる市議は、「農家を守れない」と追求し、みなさんとともにがんばります。



干害対策で市に緊急要請する日本共産党市議団

水田のひび割れを観察する
滝沢しげる市議



冬期保安要員は「いのち綱」

❶ 冬期保安要員は、①生活道路の除雪、②高齢者世帯等の除雪・見守り、③公共施設・公共的施設の除雪などを行っています。

❷ 2020年に、対象集落が20世帯未満から30世帯未満に、未除雪区間が概ね100mに改善。要援護世帯の除雪支援は、多雪地帯は年額3万5千円から4万円に引き上げられました。



税金の使い方をチェック！暮らしをまもる防波堤

許せない！
高齢者から
温泉取り上げ？

公民館利用料やゴミ袋の値上げなど、利用料・手数料などの負担増は、総額1億3千万円にもなりました。

松之山の鷹ノ湯温泉の入浴料、とくに高齢者のシーズン券はなんと2.4倍の値上げです。少ない年金の高齢者から、地域の宝である温泉の取り上げは、ぜったい認めることができません。

滝沢しげる市議と日本共産党の3人の市議団は、市民のみなさんとともに、粘り強く提案・申し入れ、市政をチェックし、暮らしと地域をまもるために奮闘してきました。



党市議団の政府交渉

市議団は、20年2月の厚労省要請で「最終的に決めるのは地域。それを尊重する」との回答を引き出しました。

これをふまえて3月議会で滝沢しげる市議が一般質問を行い、地域と行政・市議会が一体になった松代病院存続の流れ

**国・県の病院つぶしを、住民の力ではねのけ
松代病院を県立のまま残した**

2019年9月、厚労省は全国424の公立・公的病院を名指しで再編・統合を求めてきました。松代病院も入っていました。

市議団はただちに「対象病院の撤回」を厚労省に求めるよう市長に要請。市からは「国の対応は理解できない」「強く憤りを感じている」と回答がありました。

県は国いいなりすばやい地元の動き

県は松代病院を十日町に移譲することや、「無床診療所へ転換」の方針を示しました。

「まつだい地域振興会」「松之山自治振興会」は、ただちに市長や県知事に松代病院の存続を要請しました。

地域医療を守り、充実へ

「住み続けられる」地域であるために、医療はかせません。日本共産党は一貫してこの問題をとりあげ、十日町病院の建て替え、看護学校設立にも貢献してきました。

引き続き、十日町病院の分棟再開など、地域医療を守るために全力をつくします。

県立病院として存続へ

2024年3月の「新潟県立病院経営強化プラン」で県は、「職員を県立病院ネットワークを活用して確保」と表明。

「プラン」で表明された松代病院の機能を維持するために、引き続き、みなさんと力を合わせてがんばります。

